

学習課題(中学校3年生)



【国語】

<学習内容>

○教科書の「作られた『物語』を超えて（P42～47）」を読んで、作品の論理展開と筆者の主張を捉えよう。また、筆者のものの見方や考え方を踏まえ、人間、自然、社会について考えたことを家の人に伝えよう。（前回からの継続）

<取り組み方>

① 本文を「序論」「本論Ⅰ」「本論Ⅱ」「結論」の構成で分けてみよう。

（例）

序論…段落①～▲ 本論Ⅰ…段落○○、本論Ⅱ…段落●●・・・

※この作品の構成は

序論 …話題提示

本論Ⅰ…話題提示を受けての詳細な記述（ゴリラの例）

本論Ⅱ…本論Ⅰを受けての人間全体への一般化

結論 …主張のまとめ—解決方法・方向性の整理

となります。参考にして、段落分けをしてみましょう。

※論理がどのように展開しているか、について考えるにあたっては、P48～49 下段「論理の展開を評価する」、P50～51「思考のレッスン 具体化・抽象化」を参考にしよう。

② 段落⑪⑫（P46・17行目～P164 最後）から筆者の主張を読み取り、要約してみよう。

- ・筆者がゴリラの事例を挙げた理由を考え、人間社会においても通じることはどんなことがあるのかを読みとってみよう。
- ・そのうえで、筆者が最も伝えたいことは何なのかをまとめてみよう。
- ・本文の大切だと思う部分に線を引いて考えてもいいでしょう。

③ この作品を読んで感じたことをまとめてみよう。

・テーマ「**作られた『物語』を超えて**」から私が考えた「○○」

※○○に入る言葉を考えてみよう。

（○○に入れる言葉の例）

「世の中の誤解と真実」：ゴリラの誤解された事例や真実を知って感じたこと。

「人間社会の物語」：ゴリラの誤解に基づく「物語」が人間社会にもたらす悲劇について感じたこと。

「新しい世界」：筆者の主張に対しての自分の意見。 など

③ ③でまとめたことを家の人に伝えてみよう。

※①～④に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※③について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するというだけでもかまいません。